

歳出・総務費

地籍調査

問 国土調査は県支出金で行うが、その成果を未登記道路の解決にも利用できれば測量費用を有効に使えることになるが成果の共有はできているのか。

答 地積測量の過程において未登記道路を知ることもなった場合にはその情報は各課へ提供している。

防災士養成研修講座

問 市内の防災士は379名、災害時の避難行動等、意見交換の場が必要と思うが。

答 昨年、今年と新型コロナウイルス感染症予防の関係で中止しているが、令和4年度は養成講座の開催を予定している。防災士の方々の接点を持つ機会を設けた。現在の状況や意向も確認しながらどのように協力いただけるか探っていく。

高校生のキャリア構築の支援

問 高校生教育事業の釜石コンパス開催回数と事業総額はいくらか。最終的には釜石市の将来を担う人材の育成を図るとしているが、実際に地元で起業をした人はいるのか。

答 釜石高校・商工高校生徒を対象に43回開催し、延べ5592人参加した。これまでの総事業費は、令和3年度までで約1700万円である。地元

での起業者は把握していない。

民生費

医師療費給付も

問 所得制限が撤廃され18歳まで医療費が無償化されるとのことだが、事業拡大に至った経緯は。支援対象は高校生年齢帯までという認識で良いか。

答 子どもの支援策として同事業は助成内容を段階的に拡大してきた。子育て世代では医療費助成はニーズがあり、安心して産み育てられる環境づくりは重要だ。支援対象は高校生年齢帯まで、18歳となる年度末までとしている。

避難行動要支援者対策

問 沿岸部においては個々に支援者を作るのではなく、地域ぐるみで支援する仕組みづくりを進めるべきではないか。

答 沿岸部では津波を想定し、支援者が見つけづらい。日ごとに要支援者の状態も変わり、支援者の変更も大きな負担だ。個々の負担が大きすぎる。グループで支援し、一人にかかる負担を軽減したい。

緊急通報システム

問 緊急通報システムの内容と普及状況、使用料金と使用状況は。また、利用世帯が少ないが普及の啓発は。

答 病気や相談事を装置のボタンを押し通報ができる。救急車や親族への連絡が可能で75世帯が使用し、使用料は月額0円から3850円である。また、今年度は3件の救急搬送を行っている。包括支援センター職員やケアマネジャーなど通じてあらゆる機会に普及に努める。

